

2020年度 教育支援プログラム(C) 成果報告書

取組名称	オンライン国際交流プログラム ～新時代の国際交流の先駆け～ Online programs for The New Normal / 新時代國際線上交流活動	
テーマ 該当番号に○	(I) 国際社会への貢献 II. 産業界との連携 III. 地域社会との連携 IV. 小中高との連携	
取組責任者	法学部法律学科 4年	山口 海渡
取組担当者	商学部経営学科 4年 文学部外国語学科英語専攻 4年 (すべての取組担当者を最後に記載)	中川 光彦 山内 七海
取組助言者	西南学院大学国際センター事務室 岡田 太朗	

1. 取組の概要 (200~300字程度)

5W1H (who, where, when, what, why, how) を意識し、取組内容・目的を具体的に記入してください

オンラインの国際交流プログラムを企画運営することにより、西南生が海外学生と交流することができる機会の提供に尽力した。

本取組は申請当初に掲げていた以下の3本柱

①西南学院大学と海外各国の協定校の学生(2020.08~留学中止者・2021.01~留学予定者)

②西南学院大学と東吳大學(台湾)の学生

③西南学院大学と台湾の5つの協定校(輔仁・東吳・國立東華・東海・文藻外語)の学生

のうち、主に①に注力し、zoomを利用して1回完結型のオンラインイベントを計11回実施した。

取組回数の内訳としては、①10回、②0回、③1回 である。イベント内容は、自己紹介や、少人数グループでのフリートーク、簡単なゲームなど、比較的取り組みやすい内容のもので実施した。

2. 活動内容

経費の有無に関わらず、本取組の活動内容を時系列で記入してください。

オンラインイベントの開催にあたって、西南生に対しては SAINS ポータルや GSL (3号館1階 Global Student Lounge にて国際交流の運営を学生主体で行う学生団体) の Instagram でイベント広報を行い、海外学生に対しては本学国際センターを通してアプローチを行い、募集を行った。

zoom を利用した、計 11 回のイベントを開催した。以下、実施イベントの一覧である。

- 12/16(水) 09:30 - 10:30 Online International Exchange Event
- 12/23(水) 20:00 - 21:00 Online International Exchange Event
- 1/6(水) 20:00 - 21:20 Online International Exchange Event
- 1/8(金) 09:30 - 10:50 Online International Exchange Event
- 1/28(木) 21:00 - 22:30 【Seinan×Taiwan】Online International Exchange Event
- 2/6(土) 21:00 - 22:30 留学体験記
- 2/10(水) 09:30 - 10:40 日本語イベント
- 2/10(水) 20:00 - 21:10 日本語イベント
- 2/13(土) 10:00 - 11:00 スタッフ向けイベント (ファーマン大学の学生との交流)
- 2/22(月) 09:30 - 10:40 All English Event
- 2/24(水) 20:00 - 21:10 All English Event

初回 12/16(水)の Online International Exchange Event は、言語教育センター 1 階のスタジオ教室 101 と 3,4 階の教室を借りて、最初で最後の取組メンバー同士顔を合わせてのイベント運営を行った。ここで各担当の役割を明確にしたことで、2回目以降各自宅から運営を行うことに成功した。

imakiku を利用し、毎回のイベント後にアンケートを回収、参加者の声をすぐにフィードバックすることで、実施時間やイベント内容の改善に迅速に対応することを可能にした。その他にも、クイズゲームや、参加者が写真を投稿する機能を利用し、お互いの国の料理や自然風景をその場で共有することで、イベントの盛り上がり、文化的交流に大きな活躍を果たした。

下記、初回 12/16(水)の Online International Exchange Event の当日の様子を本学広報校友課に取材を依頼し、本学ホームページに掲載していただいた。

<http://www.seinan-gu.ac.jp/news/8714.html>

3. 得られた成果

<申請当初の目的・計画の達成度>

申請書の「3. 達成目標」と照らして、どの程度の達成度であったかを記入してください。

第一段階の目標として定めた「コロナ禍における西南生と海外学生に国際交流の機会を保障すること」において、計 11 回のイベントの成功により、目的の達成を果たした。本プログラムに一度でも参加してくれた西南学生(取組担当者を含む)は約 80 名、海外学生は約 100 名に及ぶ。

<優れた成果があがった点>

活動を通して特に成果があがったと感じた点について記入してください。

特筆したい成果について、二点ある。

一点目は台湾イベントの成功による、英語以外の言語交流の可能性である。本イベントは、台湾留学を経験した学生が日本語と中国語を話し、当日の司会進行を務めた。台湾の協定校に対しては、日本人の台湾への興味関心を示す良い機会となり、どのイベントにも劣らない大盛況を見せた。

二点目は、本プログラムに企画運営として携わった計 17 名の学生(申請当初の取組メンバー 3 名を除く)をはじめとする、意欲的な西南生への活躍の機会提供を最大の成果と捉えている。活動を進める中で、運営に興味関心を持つ学生を次々にチームとして受け入れ、イベント実施回数の増加のみならず、企画のアイデアに多様な意見を取り入れることができた。

本プログラムを GSL スタッフ(4 月から公認団体 SGS に改名)に託し、引き続きオンラインイベントを定期的に開催する予定である。現に、3 月は計 12 回のイベントを企画し、複数回開催の初学者向け英会話イベントや、本学在学の学部留学生との交流イベント、また、本学協定校のひとつであるファーマン大学 Furman University とのアドヴァンスド英会話イベント等、本プログラムの初期目標の意志を引継いで、継続した活動に努めている。

また、リピーターとして何度もイベントに参加してくれた学生の中には、スタッフが協力を仰ぎ、新たなイベントの企画、運営のチームとして参加してもらっている人もおり、現在 3 月のイベントや 4 月以降のイベントに向けて一緒に活動をしている。

将来的な目標として定めている「より学術的な分野での交流を深め、本学と協定校のゼミ間交流等を行うための礎を築くこと」を引き続き掲げ、本学の国際交流の更なる盛り上がりを願っている。

最後に、本企画に携わるすべての取組担当者を次頁に記載する。

[2020 年度 Resident Assistant]

文学部英文学科 4 年 中村 仁紀

[SGS スタッフ]

文学部英文学科 3 年	鬼海 萌百花
文学部外国語学科英語専攻 3 年	増田 智久
文学部英文学科 3 年	西見 彩
文学部英文学科 3 年	小島 慶華
文学部外国語学科英語専攻 2 年	市川 明莉
文学部英文学科 2 年	武木田 里桜
経済学部国際経済学科 2 年	多田 遥香
外国語学部外国語学科 1 年	畠田 青海
外国語学部外国語学科 1 年	藤井 利瑛
外国語学部外国語学科 1 年	梶田 純加
法学部国際関係法学科 1 年	村瀬 功
人間科学部社会福祉学科 1 年	富永 しいな
国際文化学部国際文化学科 1 年	松尾 優里佳

[Seinan×Taiwan イベントスタッフ]

商学部経営学科 4 年	高田 苑枝
文学部外国語学科英語専攻 3 年	芳司 真綾
国際文化学部国際文化学科 3 年	木村 りこ